

昨年度のマップ作成時に「収量比数 R_y 計算プログラム」から算出した胸高直径の平均は 18.1cm であった。本年度の推定式により算出された胸高直径は平均で 19.8cm と昨年度の値より 1.7cm 大きくなった。以上のことから、各マップ共に森林土砂崩壊防止機能区分を示す色付けは高機能を示す緑色寄りに変化している。

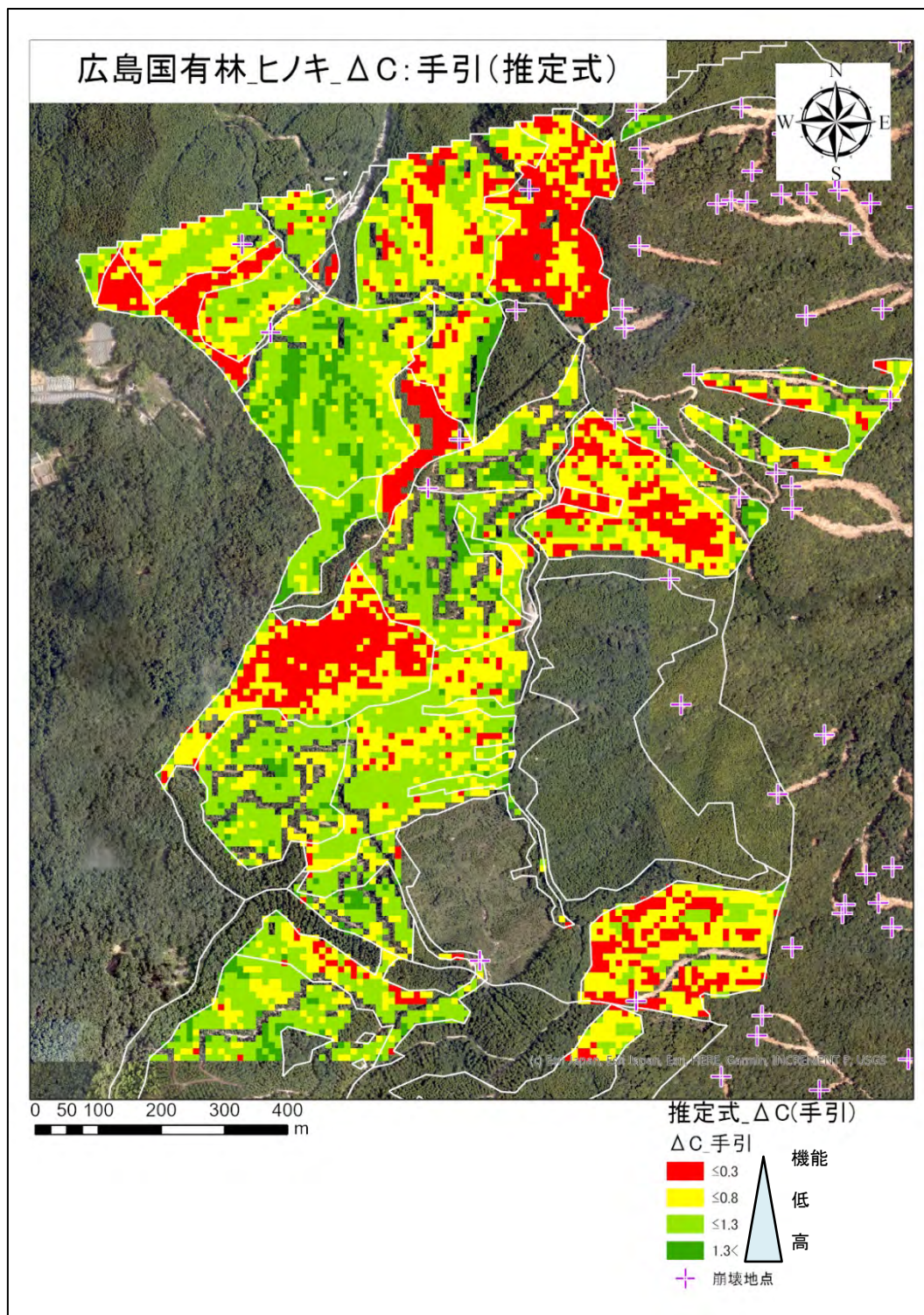


図 4.28 ΔCマップ：手引（推定式 2 による）

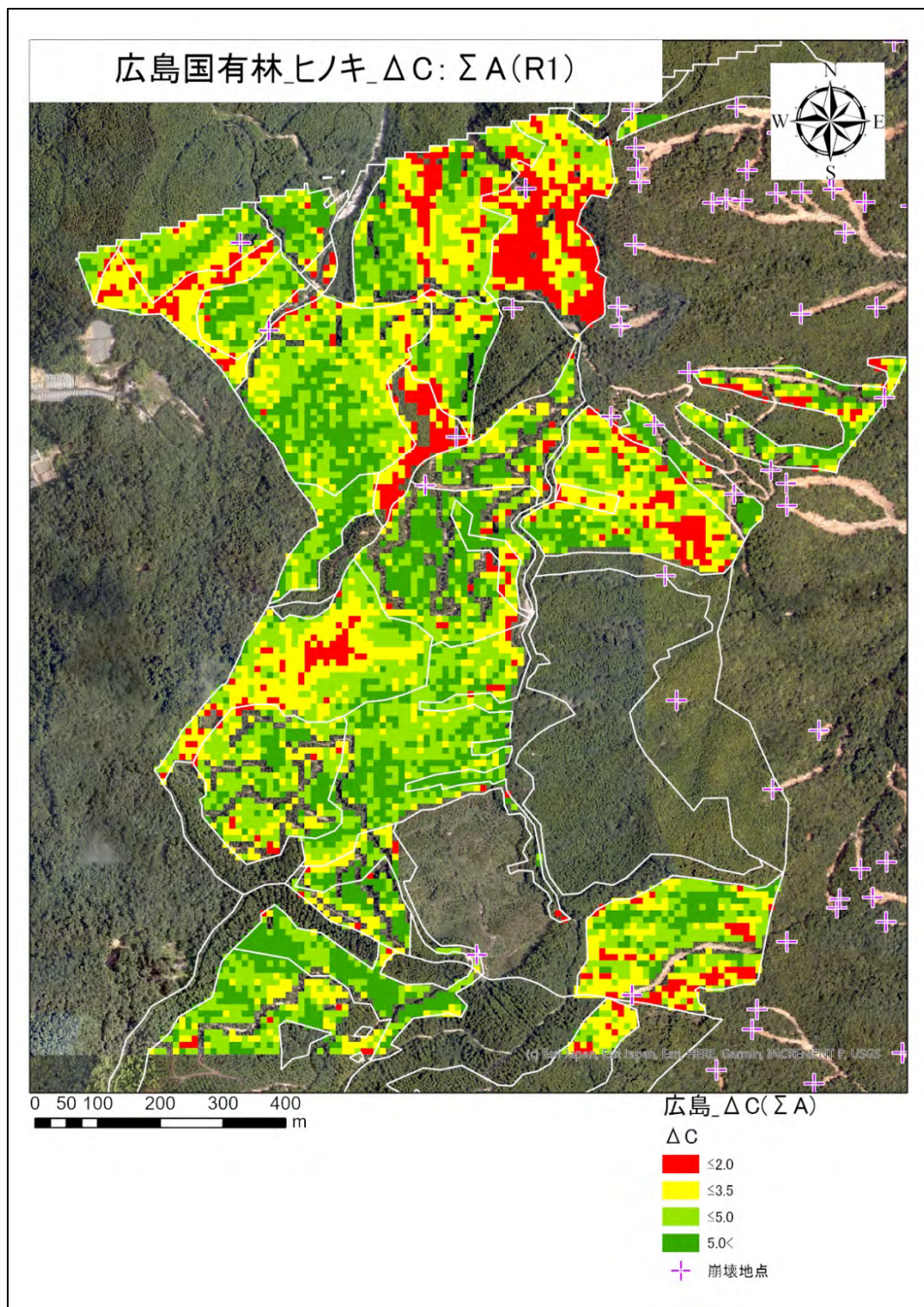


図 4.29 ΔC マップ: ΣA (令和元年度作成、収量比数 R_y 計算プログラムによる)

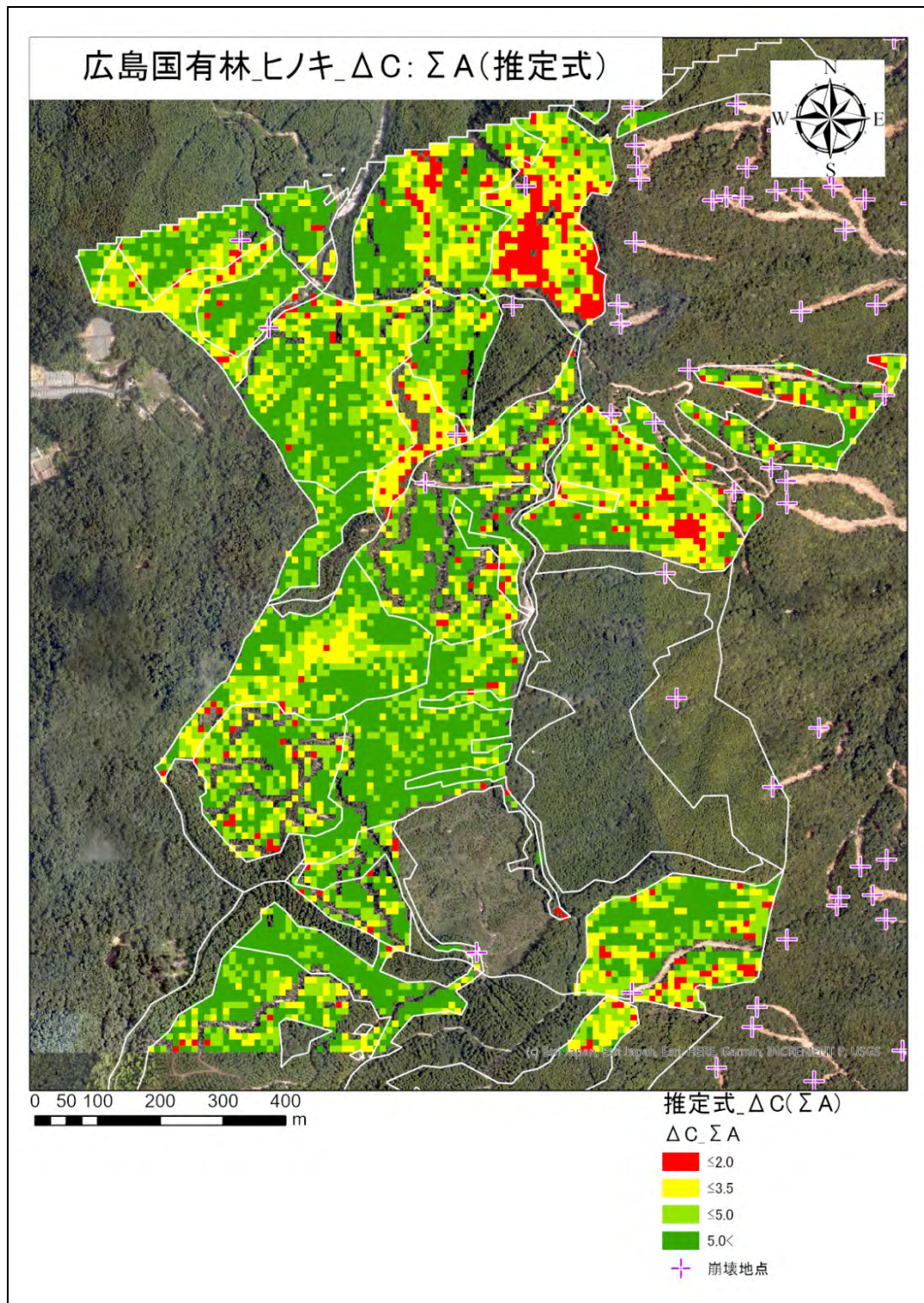


図 4.30 ΔCマップ: ΣA (推定式 2 による)